

「市民が主役の魅力あるまつど」をテーマに、さまざまな角度から街の魅力をお伝えする市民活動特集号（平成25年度から通算6回目）として、市民の安全や安心を守る市民活動を紹介します。

特集に関するお問い合わせ＝広報広聴課 ☎366-7320



囲碁・将棋・パークゴルフ・ゴルフ・グラウンドゴルフ・ゲートボール・俳句・踊り・ダンス等に参加したり、高齢者の送り迎えや見守り・買い物など、あなたの力を発揮できることがきっとあります。賛助会員は50代の方もいますよ。
松戸市はつつクラブ連合会会長・白鳥ひさじさん

食の安全・安心について正しく理解し、食品の選び方・保存・調理・後片付け方法を男性と女性が一緒に学んで実行しましょう。
食の安全安心を考える市民の会代表・古宮保子さん

まつどの安全・安心を守る

広報まつど平成28年3月1日号1面にもあったとおり、松戸市の犯罪や火災の件数は減少しています。今回は防犯や防火、または食の安全など、安全や安心を守るための市民活動について紹介します。

この特集を読んで、皆さんも自分や周りの人たちの安全や安心を守るためにできることを始めてみませんか。

私たちM.A.P.S.は、自分の安全はもちろん市民の方々の安全も少しでも守れるように努力していき、これからボランティア団体の未来を担っていけるように頑張ります。
M.A.P.S.リーダー・渡辺剛史さん

徒歩でもできるパトロールをウォーキング感覚で一緒にしてみませんか。
松戸市防犯協会連合会会長・馬橋東地区防犯対策連絡協議会会長・恩田忠治さん

消火器やAEDを使って訓練を積んでいます。いざという時は地域のために頑張ります。
小金北地区少年消防クラブ・三好智佑さん

馬橋東地区防犯対策連絡協議会

パトロールをすることで心強く思う市民がいる



8年続けて定着してきた

馬橋東地区防犯対策連絡協議会では、ひったくりなどの犯罪を抑制するために8年前から青パトでパトロールをしています。開始当初は青パトを見慣れないためか「何で走っているんだ」と聞かれることもありましたが、今ではすっかり定着して学校や警察の要請で出動することも多いそう。「事件に遭遇することはないけれど、パトロールをすることで心強く思う市民がいるから続けている」と語ってくれました。パトロールの時間は担当者によってさまざま。「時間を固定しないことでかえって犯罪の抑止力になっています」

ウォーキング感覚で参加してもらえたら

馬橋東地区防犯対策連絡協議会では、青パトでのパトロールに加えて徒歩でのパトロールも行っています。「徒歩でのパトロールは運転免許証の必要もないので、ウォーキング感覚で男女問わず気軽に参加してほしい」と恩田会長。パトロールをすることで外に出て誰かと話す機会になり、パトロールをきっかけとしてハイキンググループができたりと「皆の役にも立つし、楽しく参加もできます」と笑顔で話してくれました。



上から馬橋地区、幸谷町会、八ヶ崎竜房台自治会の青パト（青色回転灯装着車両）



小学校で見守りをしています

マップス M.A.P.S.

人の役に立つことをしたい



まつどを守る未来の警察官候補たち（左から三瓶大輔さん、高山圭介さん、室井拓海さん、渡辺剛史さん）

安全を守る啓発活動

M.A.P.S.はMatsudo Area Police Supportersの頭文字をとって名づけられた流通経済大学にある「警察支援サークル」です。約4年前に結成され、現在は8人で活動をしています。メンバーのほとんどが法学部の学生で、将来警察官を目指している人も多いそうです。「振り込め詐欺防止のため、ティッシュ配りから高齢者向けイベントでの劇まで、松戸警察署の要請によって多岐に渡った活動をしています。「ティッシュ配りをしているときに温かい言葉をかけて

もらえるとうれしいです」とリーダーの渡辺さん。「劇をしたときはお客さんが800人以上いて、すごく緊張したけれど、皆さんが楽しく聞いてくれて、楽しめたと達成感がありました」とメンバーの室井さんが力強く話してくれました。



メンバーの室井さん



啓発キャンペーンに協力しています

若い人が伝えた方が説得力がある

警察からの要請がないときは、子どもたちの安全を守るため、新松戸駅や松戸駅周辺のゲームセンターや公園などのパトロールをしている皆さん。それらの活動を経て、初めての試みとして流山運転免許センターで小学生と高齢者向けの自転車の安全運転を呼びかける啓発イベントを企画中とのこと。松戸警察署生活安全課の人からの「若い人が伝えた方が説得力がある」という言葉を受けて、これからの活動に向け意欲を見せていました。